

15 地区サッカー協会
道各種サッカー・フットサル・ビーチ連盟 御中

公益財団法人北海道サッカー協会
会長 鈴木 重男

2020 年度第 1 回 HKFA 専門委員長会議における
第 3 回新型コロナウイルス感染症対策に関する協議について(通知)

4月20日開催の標記会議において、下記のとおり決定したので通知します。

記

- 1 本協会主催大会・リーグ戦・トレセン・各種研修会の開催について
6月中旬まで開催を中止する。
- 2 地区サッカー協会主催大会・リーグ戦・トレセン・各種研修会の開催について
6月中旬まで開催の自粛を要請する。
- 3 6月中旬以降の対応について
新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、各委員会の情報を集約し、JFA大会部会、国(内閣府・文部科学省等)、道、札幌市等の感染症対策の動向を見極め、判断する。
- 4 その他
引き続き、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(3/19)「別添 多くの人が参加する場での感染対策のあり方の例」を参考に大会関係者に周知及び対策に努めるよう強く希望するものである。

【対策の概要】

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」に沿って、密閉空間、密閉場所、密接場面の3つの条件がそろわないような対応を行うものとする。

- ・体調不良者を考慮して、辞退・キャンセルは随時可能(全額返金)
- ・大会主催者はドアノブ等消毒、そして参加者の手洗い場所の確保
- ・過去2週間の発熱、感冒症状者は不参加
- ・大会主催者(チームごとに実施委託可)は、参加時の体温測定、握手、ハグは禁止
- ・無観客試合も計画

【感染症対策のためのポスター・チラシ(首相官邸 HP より)】

「密閉」「密集」「密接」しない

<https://corona.go.jp/prevention/pdf/zeromitu.pdf>

3つの「蜜」を避けるための手引き

<https://corona.go.jp/prevention/pdf/cluster3.pdf>

蜜を避けましょう

<https://corona.go.jp/prevention/pdf/cluster2.pdf>

【お問合せ先】 (公財)北海道サッカー協会
TEL 011-825-1100
hfa.dream@miracle.ocn.ne.jp

【多くの人が参加する場での感染対策のあり方の例】

1)人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施

- 参加時に体温の測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い方は参加を認めない。
- 過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方は参加しない。
- 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方は参加しない。
- 体調不良の方が参加しないように、キャンセル代などについて配慮をする。
- 発熱者や具合の悪い方が特定された場合には、接触感染のおそれのある場所や接触した可能性のある者等に対して、適切な感染予防対策を行う。
- 会場に入る際の手洗いの実施ならびに、イベントの途中においても適宜手洗いができるような場の確保。
- 主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。
- 飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行う(例えば、「手が届く範囲以上の距離を保つ」、「声を出す機会を最小限にする」、「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場面はマスクを着用させる」など)

2)クラスター(集団)感染発生リスクの高い状況の回避

- 換気の悪い密閉空間にしないよう、換気設備の適切な運転・点検を実施する。定期的に外気を取り入れる換気を実施する。
- 人を密集させない環境を整備。会場に入る定員をいつもより少なく定め、入退場に時間差を設けるなど動線を工夫する。
- 大きな発声をさせない環境づくり(声援などは控える)
- 共有物の適正な管理又は消毒の徹底等

3)感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

- 人が集まる場に参加した者の中に感染者がでた場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。
- 参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力する、また濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

4)その他

- 食事の提供は、大皿などでの取り分けは避け、パッケージされた軽食を個別に提供する等の工夫をする。
- 終了後の懇親会は、開催しない・させないようにする。

※上記は例であり、様々な工夫が考えられる。